

施策評価調書（主要施策別）

様式 1

基本目標	「強靱」な水道の構築	整理番号	1 - ( 3 )
主要施策	危機管理体制の充実	施策主務課	計画課
施策の趣旨	県営水道では地震や事故等に強い水道施設の整備を進めているところですが、災害、テロ等違法行為などによって発生する様々な状況にも十分対応できるよう危機管理体制の充実に努めていかななくてはなりません。 そのため、実践的で速効性のある応急体制や、各浄・給水場等の危機管理対策を更に充実・強化するとともに、給水区域内 11 市や近隣の水道用水供給事業者との連携強化を図ります。		

施策を達成するための主な取組と達成状況

取組	緊急時に備えた体制の充実		担当課	計画課 給水課
	(取組の概要) 地震等の自然災害及び事故の発生時等における応急活動の充実を図るため、千葉県水道管工事協同組合や関係団体と連携して行う震災対策総合訓練、各所属で行うテーマ型訓練や、「災害時支援協力員制度」を活用した訓練等、より実践的な訓練を行い、職員が非常事態に確実に行動できる体制の充実を図るとともに、備蓄倉庫や応急用資機材等の増強に取り組みます。			
	(28年度取組計画の概要) 地震及び事故の発生時等における応急活動の充実を図るため、以下の実践的な訓練を行い、職員及び関係機関等が非常事態に確実に行動できる体制の充実を図ります。 また、非常用飲料水袋等について、必要な備蓄の維持に努めるとともに、備蓄倉庫の建設に取り組みます。			
	実施訓練 ・水道局水道事業震災対策総合訓練、九都県市合同訓練（県会場、市会場）日本水道協会関東地方支部（南関東ブロック）合同防災訓練 ・各所属が行うテーマ型訓練 ・支援協力員訓練			
	28年度当初予算額		102,203 千円	決算（見込）額
			29年度への繰越（見込）額	61,567 千円
達成指標	1) 訓練の実施回数 2) 備蓄倉庫の建設及び復旧用資材の備蓄状況		内部評価	
達成目標	1) 総合訓練 6 回 テーマ型訓練 104 回 支援協力員訓練 1 回 2) 幕張備蓄倉庫の建設完了 松戸備蓄倉庫の建設完了 柏井備蓄倉庫の設計完了		a : 達成している <b>b</b> : 概ね達成している c : 未達成だが進展している d : 進展していない	
達成実績	1) 総合訓練 6 回 テーマ型訓練 110 回 支援協力員訓練 1 回 2) 幕張備蓄倉庫の建設完了 松戸備蓄倉庫の建設未完了（平成 29 年 5 月に完了） 柏井備蓄倉庫の設計完了		前年度評価	-

<p>(取組の進捗状況)</p> <p>1) 総合訓練については、九都県市合同防災訓練等のほか、今年度は、新たに日本水道協会関東地方支部（南関東ブロック）合同防災訓練に参加するなど、合計 6 回の訓練を行い、関係団体との連携強化を図りました。</p> <p>各所属が取り組むテーマ型訓練では、給水車や仮設給水栓を活用した応急給水訓練、情報伝達訓練等、震災や水道施設事故を想定した訓練を 110 回実施し、作業手順の習熟度を向上させました。</p> <p>災害時支援協力員の訓練では、給水拠点の応急給水設備や給水車と仮設給水栓を活用した実践的な応急給水訓練を実施し、支援協力体制の強化に努めました。</p> <p>2) 備蓄倉庫については、幕張備蓄倉庫の建設と柏井備蓄倉庫の設計は完了しましたが、松戸備蓄倉庫は、建設予定地に地下埋設物があることが判明し、その移設、撤去に時間を要したため、平成 29 年 5 月まで工期を延長しました。</p> <p>(評価結果の説明・分析)</p> <p>松戸備蓄倉庫の建設については、工事の遅れがありましたが、その他の取組については目標を達成しており、取組全体としては「b：概ね達成している」と評価しました。</p> <p>(今後の進め方)</p> <p>引き続き、訓練の実施や応急用資機材の備蓄を強化するなど、緊急時に備えた体制の充実に努めるとともに、柏井備蓄倉庫の建設着手に向けて関係各課と協議、調整を進めます。</p>
---

給水区域内 11 市等関係団体との連携強化		担当課	計画課	
取組	<p>(取組の概要)</p> <p>地震等の非常時において、災害対策基本法や地域防災計画等に基づいて給水区域内 11 市とともに、病院等の重要施設や住民に対する応急給水活動を迅速かつ適切に行っていくため、協議や意見交換等の場を通じて相互の役割分担等について確認を行い、連携の強化を図っていきます。</p> <p>また、これまで浄・給水場間のバックアップ体制については、一定の確保を図ってきたところですが、更なるレベルアップに向け、北千葉広域水道企業団が設置する調整池を活用した水融通体制を確保します。</p> <p>(28 年度取組計画の概要)</p> <p>応急給水活動への対応を確実なものとするため、各市との連絡調整会議により応急給水に係る役割分担の再確認や、仮設給水栓を用いた応急給水の実施について引き続き具体的な運用方法を協議するとともに、各市との合同訓練を実施することにより連携強化を図ります。</p> <p>また、北千葉広域水道企業団との水融通については、体制の確保に向けた協議を進めます。</p>			
	28 年度当初予算額	0 千円	決算（見込）額 29 年度への繰越（見込）額	
			0 千円	0 千円
	達成指標	合同訓練の実施回数	内部評価	
	達成目標	11 回	a：達成している b：概ね達成している c：未達成だが進展している d：進展していない	
達成実績	11 回	前年度評価	-	

<p>(取組の進捗状況)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>給水区域内 11 市と応急給水等連絡調整会議を開催し、役割分担の再確認を行うとともに、各市が開催した防災訓練に計 11 回参加し、応急給水活動の更なる連携強化を図りました。</li> <li>仮設給水栓の活用について、これまで 5 市と締結していた応急給水の実施等に関する覚書を、新たに 3 市と締結しました。</li> <li>北千葉広域水道企業団との水融通については、体制の確保に向け、相互応援協定に係る細目協定の具体的な内容について協議を進めました。</li> </ul> <p>(評価結果の説明・分析)</p> <p>合同訓練の実施回数について、目標を達成したため、「a：達成している」と評価しました。</p> <p>(今後の進め方)</p> <p>引き続き給水区域内 11 市と応急給水等連絡調整会議を開催し、更なる連携強化を図るとともに、仮設給水栓の活用について覚書未締結の 3 市と協議を進めていきます。</p> <p>また、北千葉広域水道企業団との水融通については、平成 29 年度中の相互応援協定に係る細目協定の締結に向けて、引き続き協議を行っていきます。</p>
---

	浄水施設の危機管理対策の強化	担当課	浄水課																
取組	<p>(取組の概要)</p> <p>近年、世界各地でテロが頻発している状況や 2020 年の東京オリンピック・パラリンピック開催を控える中で、懸念されるテロ等違法行為による異物混入等のリスクに備えるため、浄水施設におけるより一層の危機管理対策の強化を図ります。</p> <p>(28 年度取組計画の概要)</p> <p>覆蓋化の対象とする柏井、北総、ちば野菊の里、福増浄水場の基本設計（駆体の構造計算、材質等の検討）を実施します。</p> <p>また、浄・給水場の監視体制の強化として、井戸及び高架水槽などに機械警備を導入します。</p>																		
	<table border="0"> <tr> <td>28 年度当初予算額</td> <td>118,804 千円</td> <td>決算（見込）額</td> <td>52,241 千円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>（再掲分 43,000 千円）</td> <td></td> <td>（再掲分 13,716 千円）</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td>29 年度への繰越（見込）額</td> <td>0 千円</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td></td> <td>（再掲分 0 千円）</td> </tr> </table> <p>（上記の金額のうち、覆蓋設置事業分については、1-(1)- 「浄・給水場設備の更新・整備」で計上している金額から抽出・再掲載したものです。）</p>			28 年度当初予算額	118,804 千円	決算（見込）額	52,241 千円		（再掲分 43,000 千円）		（再掲分 13,716 千円）			29 年度への繰越（見込）額	0 千円				（再掲分 0 千円）
	28 年度当初予算額	118,804 千円	決算（見込）額	52,241 千円															
		（再掲分 43,000 千円）		（再掲分 13,716 千円）															
			29 年度への繰越（見込）額	0 千円															
			（再掲分 0 千円）																
達成指標	浄水場における覆蓋設置状況	内部評価																	
達成目標	基本設計の着手	a：達成している																	
達成実績	基本設計の完了、基本計画の策定	b：概ね達成している																	
		c：未達成だが進展している																	
		d：進展していない																	
		前年度評価	-																

	<p>(取組の進捗状況)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 柏井、北総、ちば野菊の里、福増浄水場において、覆蓋化の基本設計を完了し、覆蓋設置の基本事項をまとめた基本計画書を策定しました。</li> <li>・ 監視体制の強化を図るため、合計 61 箇所の井戸及び高架水槽等に機械警備を導入しました。</li> </ul> <p>(評価結果の説明・分析)</p> <p>覆蓋設置については、基本計画を策定し、目標を上回る実績が得られたことから「a：達成している」と評価しました。</p> <p>(今後の進め方)</p> <p>覆蓋設置においては、詳細設計を完了させ工事に着手します。</p> <p>また、機械警備の導入と適切な運用を継続し、浄・給水場の監視体制の強化に努めます。</p>
--	--

**施策の成果**

成果指標	非常時職員参集管理システム応答率(1時間以内)	内部評価	
成果目標	98%以上	a	: 成果が出ている
成果実績	98.3%	b	: 概ね成果が出ている
		c	: 成果が小さい
		d	: 成果が出ていない
		前年度評価	-

(施策の進捗状況)	<p>平成 28 年度の非常時職員参集管理システムを活用した訓練応答率は、5 月に実施した 1 回目の訓練では 96.9%でしたが、システムを利用した応答方法の説明を個別に行うなど、職員の意識向上とシステムの習熟度向上に努めた結果、11 月に実施した 2 回目の訓練では 98.3%となり、目標の 98%を上回りました。</p> <p>また、実践的な訓練や備蓄倉庫の増強、給水区域内 11 市等関係団体との連携強化のための取組を計画的に実施することで、応急体制の強化を図りました。</p> <p>さらに、浄水施設においては、覆蓋設置の基本計画を策定するとともに、井戸及び高架水槽等への機械警備の導入を進め、危機管理対策の強化を推進しました。</p>
(評価結果の説明・分析)	<p>成果指標については目標を達成しており、施策達成のための主な取組についても、ほぼ計画どおりに進行し、危機管理体制を強化・向上させることができたため、「a：成果が出ている」と評価しました。</p>
(今後の方向性)	<p>職員参集管理システムについては、新規職員やシステムに不慣れな職員に対する事前周知を徹底し、今後も高い応答率を維持していきます。</p> <p>また、職員個人及び組織として危機管理意識を高め、災害、テロ等違法行為などによって発生する様々な状況にも十分対応できるよう、訓練の実施等による応急体制の確立や、浄・給水場等の危機管理対策の推進、関係団体との連携強化などについても計画的に取り組み、引き続き危機管理体制の充実に努めていきます。</p>

内部評価機関 (経営戦略会議) における評価	<p>(総合的な意見等)</p> <p>自己評価を妥当と認める</p> <p>(特記事項)</p> <p>なし</p>
------------------------------	---